

株式会社 新生

日本のものづくり、
手作業のラインで支える

納期
相談
コスト
相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



ニーズに柔軟に対応する生産ライン

業務内
自動化できない、手作業による
加工・組み立てを担う。

多くの製品で、生産量などコスト面や技術的な難しさから自動化できない工程がある。家電製品やゲーム機、音響製品、検査装置などの回路のハンダ付けやビス締めなどの組み立て作業を委託し、従業員の手作業で対応する。本社工場、主に基板を作るPAL工場の2工場体制。さまざまな企業から引き受けた組み立て作業をどのように行えば効率を高めることができるか工夫。「長年のノウハウが試される」と川上幸一社長は力を込める。日々進化する電子回路の構造や部品サイズにも柔軟に対応し短納期でユーザーへ応える。

強み
意欲ある
技術者による即納体制

フットワークの軽さが何よりの強み。難しい注文でも、短納期かつ高品質な生産で対応できる。最小ロットでは1個単位から、最短では即日納品が可能だ。川上社長は「加工業の受注から納品までは鉄道のダイヤと一緒に。全体を見つつ、いかに無駄をなくすかが生産性を高める勝負になる」とコツを示す。新生の「正常運行」を支えるのは従業員の技だ。

熟練のスキルを持つ技術者が効率良く手作業と検査を行うことが高品質、短納期生産を支える。従業員の意欲も高い。若手社員でも肩書きが



高品質を確保する検査態勢も充実

つき、責任範囲が広い。女性の活躍が目立つことも特徴だ。

人材
育成
若手人材に活躍の場

川上社長いわく「企業は人が大切」ということをさまざまな経験から学んだ」とのこと。自ら率先して現場に出て作業をするなど、従業員に仕事への姿勢を示すほか、いろいろな話や格言で従業員にメッセージを伝えている。コミュニケーションを重視するあまり「オヤジギャグや話の長さで嫌がられる」とのこともあるそう。近年は、若手人材の採用に積極的。高度な技能を次世代の人間に継承することを目指している。機械と人手の作業を融合して新たな受注につなげることも模索。大学との共同研究によって新技術確立する試みも進めている。

今後の
展望
加工機を導入し、手加工の
さらなる高度化を図る

手作業による加工・組み立ての技術力をフルに生かすため、マウンターなどの機械類の導入を検討している。「手作業の前後の機械工程を受託できれば、より多様な仕事を請け負える」と川上社長は狙いを語る。新生は国内にとどまり、国内のものづくりを支える企業として生きることを目指しており、生産拠点の海外シフトが進む中で生き残るにはどんな受注活動が欠かせない。一方で、新規ユーザー獲得や信頼性向上を目指してISO9000シリーズを取得した。新生は時代の変化に対応しつつ業態や生産体制を変えてきた。どんな環境下でも成長を続けたいという。

COMPANY PROFILE

株式会社 新生

大阪
26

ISO 9001

当社の
歴史

創業者の奥田秀夫が昭和34年に石油製品の販売を主として個人営業として営業を開始し、昭和41年に法人設立しました。昭和48年の第一次石油ショックを受けて多角経営に着手。加工業に参入しました。昭和62年にPAL工場を新設、平成元年にはPAL工場に民生用クリーンルームを導入するなど、電機業界を中心とした人手による加工・組立事業を拡大してきています。

「夢をカタチに」夢を見て 夢を追って 夢を喰う

代表取締役社長 川上 幸一さん



■主な事業内容

手加工、はんだ付け、ビス締め、圧着などを用いた組立加工

■主な取引先（納入先）

家電メーカー、
建築資材メーカー、
工具メーカー、
変換器メーカーなど

住所／〒546-0022
大阪市東住吉区
住道矢田7-4-8
TEL／06-6702-1340
FAX／06-6702-8685
創業／昭和34年4月
設立／昭和41年7月
資本金／1,000万円
従業員／51名

<http://www.pal-shinsei.co.jp>